

Phoenix Club

第13号



午前7時過ぎの東広島市の気温 - 6.3℃。
広島大学熱気球サークル「有頂天」のバルーンが上昇する。
●7ページ「今どきクラブ・サークル」で紹介しています。



CONTENTS

先輩インタビュー.....	2
ジャズミュージシャン、 東京薬科大学生命科学部客員教授 坂田 明さん	
校友会キャンパスライフ応援団.....	3
ドリームチャレンジ賞 第5回受賞 東広島映画祭実行委員会 第6回 課外活動援助団体 トライアスロン部 私と校友会 ② 嘉藤 裕顕さん	
第6回広島大学ホームカミングデー.....	4
ここにFOCUS.....	6
国際人育成プログラム 「成長」への大きなステップ。とにかく「外」に出よう。 1年生を海外へ STARTプログラム 海外の大学で単位を取得 HUSA広島大学短期交換留学プログラム 留学生との交流会 広島大学のグローバル戦略	
今どき クラブ・サークル.....	7
ゴルフ部 熱気球サークル「有頂天」	
キャンパスZOOM.....	7
両生類研究施設	
話題の広大.....	8
三浦 道子 教授 紫綬褒章受章 神谷 研二 教授 平成24年防災功労者 内閣総理大臣表彰	
上 真一 教授 第5回海洋立国推進功労者表彰 (内閣総理大臣賞)	
隠岐 さや香 准教授 第9回日本学術振興会賞 長沼 毅 准教授 東広島市PR大使に	



ジャズミュージシャン、東京薬科大学生命科学部客員教授

坂田 明さん

1969年 水畜産学部卒業

いい時代に、いい先生と いい学生時代を過ごしたと思う。

世界的なジャズサックス奏者の坂田明さんは広島大学水畜産学部の卒業生。恩師、笠原先生を取り巻く学生たちの日々、『広島大学ジャズバンド』のこと、ジャズで生きていくための「作戦」……。50年の歳月を飛び超えて、思い出話を語ってくださいました。

笠原先生とやんちゃな学生たち。

いやあ、俺たちの時代はいい時代だったねえ。おれ、昭和20年生まれでね、空襲で一人にもなくなつて、親たちはゼロから生活を再建していった。みんな助け合つて、高度成長に向かつていった時代だ。今みたいに複雑じゃなかったし、世の中にゆとりがあった。

俺、水畜産学部だったけど、大学の近くにあってた教官の官舎に「酒飲ませて」とストームかけたりね。朝起きたら、寮の前になぜかバス停ができていたこともあった(笑)。そんなやんちゃが許されていた時代だった。今なら退学処分モノかもしれないね。

でも、先生や友だちとの人間関係は密だった。

毎日のように教官や大学院の人とお茶飲みながら議論したり、みんなで焼肉食いに行ったり。普段は顔見せないヤツが、焼肉の時だけ出てきたりしてね(笑)。

中心にいたのが、笠原正五郎先生。この間亡くなったんだよ。

ジャズで「きちんと生きたい」。

ジャズと出会ったのは中学生の時。フランスのヌーベルバーグの映画でモダンジャズを知った。衝撃を受けて、大学に入ってすぐに『広島大学ジャズバンド』に入った。東千田町のキャンパスでは、ダンパ(ダンスパーティー)ばかりやってたなあ。食堂の2階に部室があつてね。当時は、いろんなクラブが資金集めのためにダ

ンパやるの。で、ジャズバンドに声がかかる。俺たちは雇われて資金稼ぎ。でも、稼いだ金はすぐに飲んでしまつて、パー(笑)。そんな生活だった。

でもね、ジョン・コルトレインのコンサートを聴いてから、俺、生き方を改めた。彼、広島に来たんだよ。1966年。すごかったよ、人間の肉体と精神の、極限までのせめぎ合い。もう圧倒的、ものすごい衝撃だったんだよ。「この人のように、きちんと生きていこう」と、俺、真剣に思った。で、通信教育で編曲や和声法を勉強してね。

きちんと生きていくということは、俺にとつては、きちんと音楽をやるといふこと。親を説得し、笠原先生に十萬円借りて、サックスを持って上京した。

3年で認められる 場合がある。

3年やつてダメなら広島に帰ると、親と約束していたので、どうやったら3年で一人前になれるか考えた。当時、ジャズミュージシャンと言えば渡辺貞夫だったけど、ナベサダの真似をしても仕方ない、ナベサダは一人でいいもんね。渡辺貞夫を目指すんじゃなくて、「誰もやってないことをやろう」と。

ここからが俺の作戦。2つの言葉を柱にしよ。まず、チャーリー・パーカーのサックスの吹き方についての言葉。「息を思い切り吸い込んで、指をできるだけ早く動かせ」。これは俺にもできる。そしてもう一つ。フリージャズのオーネット・コールマンの言葉「どんなこと

でも3年やれば世の中に認められる。場合がある」。場合がある、だよ(笑)。でも俺はその「場合」に賭けた。

大型免許を持っていたので、運転手をしながら日曜日にサックスを演奏するという生活を2年くらい続けて、山下洋輔に拾われ、そこからミュージシャンとしての道が開けていった。新しいスタイルが面白かつたんだろうね。作戦は運よく成功だった！(笑)。

外に出て、悔しい思いをしろよ。

「あんなのはジャズじゃない」なんて、俺はよく言われていたけど、それで結構。「こうでなきゃいけない」なんてことはないもの。何か成功したとしても、ずっとそれを守り続けようなんて思わない。祭り上げられてちゃ、つまらないよ。どんどん変化している世の中の先の方にいたいよ、俺は今でも思っている。

こういう人間だから、世の中の70%の安定志向の人とは違うかもしれないけど、自信を持って言えるのは、「外に出ろよ」ということ。外に出て、いろいろな人に会えよ。自分とは違うヤツ、自分が考えてなかったことをやってるヤツに出会おうと、悔しいよね。「やられた！」と思う。それが、モチベーションになるんだよ。「くそ！」と思えることに会いに行けよ。それが、道を拓く。場合もある。つてね(笑)。



◆坂田 明さんプロフィール
広島大学水畜産学部水産学科を1969(昭和44)年卒業。エネルギッシュなサックス演奏で人気を集める。現在もジャズミュージシャンとして国際的な活動を展開中。その一方「ミジンコウォッチャー」としても知られ著作も多い。タレント、俳優、東京薬科大学客員教授と多面的な顔を持つ。



いよいよ卒論というときに笠原先生が勧めてくれた『海の動物研究』。結局、ミジンコウォッチングとしてライフワークになった。顕微鏡と撮影機材を揃えた「自宅研究室」にて。



1月発売の『私説 ミジンコ大全』。坂田さんが撮りおろしたミジンコの写真はドラマチックで美しい！ミジンコ初心者のための、教科書となる一冊。

取材の後で



千恵子夫人との出会いも『広島大学ジャズバンド』。同じ福山キャンパスの教育学部生だった。



◆事前に坂田さんの逸話などを聞いて、享樂的でトリッキーな人だなあと思っていました。お話しているとそんな雰囲気は感じられませんが、でも、新しい音楽を作り続けることへの強い情熱は僕にも伝わってきました。それは、ミジンコの研究も同じ。自分の愛するものごととん突き詰める、妥協のない姿勢に心を動かされました。僕自身の、これからの人生を生きる姿勢を問われているような気がしました。でも、僕は。自分の役割を果たして生きたいと思えます。(経済学部3年 恵)

その頃の広大



水畜産学部は福山市沖野上町にあった。坂田さんは学内にあった緑翠寮から学部へ通った。

写真提供：広島大学文書館

校友会キャンパスライフ応援団

広島大学校友会は、校友会員在学生のキャンパスライフをサポートしています。

ドリームチャレンジ賞 第5回受賞

東広島映画祭実行委員会
河野 詠二くん

大学だけでなく 東広島市の定番イベントに

地域のひとと学生が 映画でつながる

「東広島映画祭」は平成18年から毎年開催。映画監督をゲストに招いてのトークショーや自主制作フィルムの上映など、すべてが広大生が企画・運営しています。



河野くんは第6回東広島映画祭の委員長。「先輩に誘われて」実行委員会に入りました。

当時は、市内の映画館を会場にオールナイトで開催。来場者は学生が中心でした。しかし、「地域のひとと学生を映画でつなぐイベントにしたい」と、東広島市の観光の顔、酒蔵を中心に、映画館や大学カフェなどに会場を分散することに方針転換。観光客も含め、多くの観客を集めることができました。

全員の知恵を集めて ドリームチャレンジ賞に応募

「いろいろな人に来てほしいので、広報に力を入れたかった」と河野くん。ドリームチャレンジ賞には河野くんの名前で応募しましたが、東広島市のイベントとして成功させることを目指してミーティングを重ねてきた。実行委員会全員のチームワークの結果です。全国の大学にショートフィルムの応募を呼びかけたり、プロの監督に来てもらったり、さらに会場設定や視察、機材のレンタル、広報物作成、予算管理など、映画祭の開催には時間も費用もかかります。資金集めは、学生たちのビッグテーマです。

市と校友会の支援で 多角的なイベントに

今回は、東広島市のシティプロモーション事業のサポートも獲得。ドリームチャレンジ賞とあわせ、会場や開催日を拡大、入場料を無料にするなど、これまでとはちがう試みもできました。

「何よりも、酒蔵や観光協会など、街づくりの中心で活動している社会人と知り合い、考える足場を上げることができたことが、よくとって、一番のプロジェクトの成果」と、河野くんは胸を張りました。



取材に参加してくれた東広島映画祭実行委員会メンバー。左から理学部1年田中くん、工学部2年津田くん、教育学部2年の大越くん。



2012年の映画祭。酒蔵での上映風景

第6回ドリームチャレンジ賞

学生が「夢に挑戦するための贈り物」として、校友会が活動資金を助成する制度。第6回は、応募のあったテーマの中から、独創性があること、発展性があること、計画に妥当性があること、社会に貢献するものであることを基準に11件を選び、合計335万円を助成しました。

●第6回ドリームチャレンジ賞 受賞者・活動テーマ

- 岩井実里 (教育学部)**
広島県に住む外国人に日本語を学ぶ機会を提供するとともに、異文化理解を深める交流を行う
- 高谷駿介 (工学部)**
全日本学生フォーミュラ大会への挑戦
- 山根高史 (教育学研究科)**
R言語を用いた統計教育
- 野地詩織 (文学部)**
夏季中国四国地区学生馬術大会の完全勝利と全日本学生馬術大会の入賞をめざして
- 竹林由武 (総合科学研究科)**
心理学研究の立案・成果報告に役立つ実践的データ解析法の普及
- 城戸健士郎 (医学部)**
「音楽で 人と人の つながりを」
- 鳥居史高 (教育学部)**
モンゴルでけん玉の楽しさを伝え、指導すると共に、けん玉活動や国際交流を通して自らを成長させる。
- 石丸裕康 (社会科学研究科)**
公的データの活用による地震データの可視化と防災啓発
- 茶之原直人 (理学部)**
総合杯獲得への挑戦とモータースポーツの発展を目指す
- 高橋大海 (国際協力研究科)**
世界の貧困と教育の問題に学生がアクションを起こす～インドワークキャンプ・国際学生会議～
- 岩本明子 (医歯薬学総合研究科)**
カンボジアのこどもたちの歯をまもる

第6回 課外活動 援助団体

広島大学 トライアスロン部
GULLS

地道な練習を積み重ねて、 悲願のインカレ団体優勝を

得意種目を交換して 三種目を極める

12月の夕暮れ。気温3度のグラウンドに授業を終えた学生が一人二人とやってきて走り始めます。トライアスロン部GULLSのメンバーたちです。



トライアスロンは、スイム(水泳)、バイク(自転車)、ラン(マラソン)の三種目を二人の競技者が行うスポーツ。部長の井上くんによれば「3つの種目を一人で制覇する達成感が魅力!」

「だから、それぞれが得意種目で他のメンバーにアドバイスをするんです」そうやって、メンバーが互いに教え合いながら、GULLSは強くなっていきました。

ストイックな練習で タフな体を作る

競技では平均して約2時間、全力運動を続けなければなりません。そのため体をつくるのが、毎日の練習です。トレーニングは、1時間半のバイクの後10〜20キロのラン。さらに土曜日には、学外のプールでのスイムと、公道でのバイクの練習。

第6回課外活動団体への援助金

校友会員学生が課外活動に参加しやすい環境を整えることが目的。これまでの支援先は、延べ83団体、約687万円にのぼっています。支援の内容は、遠征支援と、学外の試合やコンクールに参加して上位の成績をあげた実績に対する奨励支援など。平成24年度は21の団体と個人に304万円を支援しました。

●第6回課外活動援助金授与団体

- アーチェリー部、空手道部、弓道部、剣道部、硬式庭球部、硬式野球部、歯学部卓球部、自動車部、東雲サッカークラブ、柔道部、水泳部、水球部、ソフトテニス部、卓球部、DAMAけん、トライアスロン部、軟式野球部、馬術部、ヨット部、陸上競技部
- 水泳(個人)

第1回教育研究助成金

今年度初めての試みとして、(財)広島大学後援会と共同で、若手研究者、学生の学術研究を資金面から支援。平成24年度は、校友会から11人の個人に総額198万円を助成しました。

●平成24年度研究助成金受給者

- 佛崎はる菜(教育学研究科M1)、高木紘(理学研究科M1)、上倉敬弘(先端物質科学研究科M1)、大林真理子(医歯薬保健学研究科D3)、岡田怜(医歯薬保健学研究科D3)、正路晃一(医歯薬保健学研究科D3)、佐廣浩一(工学研究科M2)、津野地直(工学研究科M2)、加藤愛(生物生産学部4年)、中田雄一郎(医歯薬保健学研究科D1)、三好登(教育学研究科D1)



今年のインカレでの奮闘を祈ります。

就職活動支援バスツアー

関東、関西で就職活動をする学生を支援するために、広島大学キャリアセンターはバスツアーを企画しています。平成24年は会社説明会やセミナーがスタートする12月に東京、大阪へのツアーを開催しました。交通費や宿泊費を軽減するだけでなく、卒業生との懇話会など就活に役立つ企画も用意。実際、ここからスタートして志望企業に就職した学生も少なくありません。校友会もこのバスツアーを支援しています。



「バイクのタイヤはすぐ減るし、すぐ靴に穴があくんです」そう言いながら、みんな、ハードなトレーニングを黙々とこなしていきます。

「個人好成績をバネにインカレ団体優勝へ」ハードな練習の目標は、毎年夏に開催される「日本学生トライアスロン選手権(インカレ)」団体優勝。

個人では、各地の大会で上位入賞しているGULLSですが、インカレでの優勝はまだありません。悔しい思いは先輩から後輩へと受け継がれ、「インカレ団体優勝!」は今やGULLSの悲願となっています。

OB、OG、そして校友会からの応援や支援を受けながら各地の大会に参加し経験を積むGULLS。今年のインカレでの奮闘を祈ります。

◆4年生の時、それまでに築いた人脈から紹介してもらって、ホームカミングデーの学生チームを立ち上げました。広島大学創立60周年記念のホームカミングデーでもあり、在学生も何かしようというところで、後輩たちに声をかけてスタートしました。それが今、後輩たちに受け継がれていると思うと嬉しい。これからも、できるだけホームカミングデーは広島大学に「帰郷」しようと思っています。後輩たちの奮闘ぶりを見るためにもね。



ホームカミングデー学生チームの後輩たちと

私と校友会 たくさんの出会いに 感謝しています。



第3回
ホームカミングデー
学生チームリーダー

(株)シンクタンクマインドズーム
東京事務局勤務
嘉藤 裕顕さん
平成22(2010)年度
教育学部第五類
教育学系コース卒業

卒業して2年間、MBAを取得するために大学院(ビジネススクール)で勉強。「周囲は企業からの国内留学生がほとんど。ついていくために必死で勉強したんですよ」。現在は企業経営者のための研修会で全国を飛び回る。

寄付金をありがとうございました。今年度も、多くの皆さまから寄付金をいただきました。学生支援など有意義に使わせていただきます。

第6回広島大学 ホームカミングデー

平成24年11月3日(土)

「11月の第一土曜日」に開催する広島大学ホームカミングデー。第6回は素晴らしい秋晴れに恵まれました。祝日と重なったこともあって、地域の方も含め4,000人を超える人が東広島キャンパスを訪れました。



オープニング セレモニー

広島大学吹奏楽団のウエルカム演奏。



サタケメモリアルホールでのセレモニーには主に卒業生が参加。



浅原学長ご挨拶



大学歌斉唱



司会はテレビ新広島アナウンサー、棚田徹さん(総合科学部卒)



獨創性をテーマにした東京藝術大学学長、宮田亮平氏の講演は大好評



卒業生+在学生の「手つなぎ写真」を掲示

会場でも「手つなぎ写真」をパチリ!!



ロビーでは広島大学文書館が懐かしい写真をパネルで展示



ホームカミングデー学生チームのリーダー、サブリーダーも加わって広島大学の歴史を写真で紹介



午後のサタケメモリアルホールでは地元賀茂高校演劇部の特別講演「夏芙蓉」が上演された



学部・学年の垣根を越えて集まったホームカミングデー学生チーム



学生企画

ホール前広場では、ホームカミングデー学生チームがさまざまな企画を展開。



在学生マジシャン「ジキルさん」の鮮やかな手並みに子どもたちの歓声があがる



特設ステージでは在学生サークルのショー



ホームカミングデー学生チームの企画、参加者とのフリーターキングブース



近隣市町から特産品の出店が並び、地元の人でも大勢訪れた



食品メーカーの協力のもと、学生のお好み焼き店は大繁盛



被災地支援の学生ボランティアの「東北うまいもん屋」には長い行列が

学部・研究科企画

独自の企画によるセミナーや講演会、同窓会などが開催されました。

文学部・文学研究科



世界とふれあう語学カフェ

教育学部・教育学研究科



フンパーディング作曲オペラ「ヘンゼルとグレーテル」上演



学び、働くための自信を育む〜共生社会に向けた広島大学の取り組み

工学部・工学研究科



パネル展示等

法学部・経済学部・社会科学研究科



合同講演会「大震災と復興」

五百旗頭 眞氏
(復興庁復興推進委員会委員長、ひょうご震災記念21世紀研究機構理事長、熊本県立大学理事長、元 東日本大震災復興構想会議議長、元 広島大学政経学部講師、同法学部助教授、神戸大学名誉教授、前 防衛大学校校長)

理学部・理学研究科



理学部生物科学科 同窓会記念講演会



先端物質科学研究科



講演会(パネルディスカッション)

11月10日(土)

霞地区合同 医学部・歯学部・薬学部・医歯薬保健学研究科



講演会「人が生き、死ぬこと」

垣添 忠生氏
(国立がんセンター名誉総長、公益財団法人日本対がん協会会長)



理学研究科地球惑星システム学専攻 海外同窓生を囲んでのホームカミングシンポジウム



研究室公開

生物生産学部・生物圏科学研究科



食料・環境問題国際シンポジウム ~東アジアの持続可能な農業を目指した研究の進歩

懇親会

午後は、学生会館レセプションホールで懇親会。たくさんの方の参加で盛り上がりました。

大学祭に合わせて各学部で研究に関する展示やプレゼンテーションも。

展示



賓客のロシア・トムスク国立教育大学 学長も懇親会に参加されました



原田同窓会会長挨拶



大学祭

総合科学部周辺の大学祭は翌日も開催されました。



E-storm

毎年子ども連れが目立つ教育学部祭。



オープニングセレモニーの合唱を指揮した縄裕次郎さんも参加





人、成長

広島大学で「国際人」へのチャンスを掴む

ビジネスや研究では、国境を越えた活動、交流は、すでに“当たり前”。これからも、海外進出をめざす国内企業は拡大していくことでしょう。分野に関係なく、「国際感覚」が社会人の基礎能力となる時代も遠くはないはずです。

「成長」への大きなステップ。とにかく「外」に出てみよう。

1年生を海外へ START プログラム

海外経験の少ない1年生を海外に派遣し、長期休暇中に2週間、異国での学生生活を体験してもらうプログラムです。参加学生負担費用は1人5万円。海外協定大学や広島大学海外拠点などのネットワークを利用し、大学教職員が引率する短期研修。しっかりした事前・事後研修もあり、参加することで大きく成長できるはず。教養教育科目「海外フィールドスタディ」として単位も付与しています。

●ギャップが学生を成長させる

STARTプログラムに参加した学生のほとんどが「自分を客観的に見つめなおすことができた」と語ります。言葉、生活習慣、文化、すべて日本とは異なる環境の中に自分を置き、それまでの環境とのギャップを知ることで、世界がグーンと広がります。

●主体的に行動する大切さを知る

研修中、慣れない環境、文化の中で“自ら考えて行動しなければならない場面”に遭遇します。そこで、「自分で主体的に動くことの大切さを思い知らされた」と、学生の多くが言います。1年生のときに意識の切り替えができれば、その後の学生生活も意義あるものになるでしょう。

START 広島大学基金がサポートしています。



海外の大学で単位を取得

HUSA

広島大学短期交換留学プログラム

広島大学に在籍しながら海外提携大学に短期（1年以内）留学するプログラム。留学先大学の授業料は不要、取得した単位は広島大学の単位として認定が可能。日本と異なる環境で半年から1年間学ぶのは楽しいことばかりではありませんが、得るものも大きいはず。留学先の学生だけでなく、日本以外の国からの留学生などワールドワイドに友達のネットワークも広がることでしょう。



海外研修・留学の機会ほかにも 語学留学・海外研修プログラム

START、HUSA以外にも、広島大学は海外への研修・留学の機会を用意しています。また、学部による留学機会もあります。留学に関心のある方は下記にお問い合わせください。

教育・国際室 国際交流グループ
TEL 082-424-4346/6188

研修の前半を終え、それまでの1週間の振り返ったとき、初めて、その頃の自分の甘さを思い知り、また1週間での自分自身の変化に気がついた。
(総合科学部 窪内真帆)

24人のメンバーは今回の留学で人生観や今後の生き方が変わったものが多数だと思う。僕もその一人だ。
(法学部 岡田亮)

●海外プログラム体験者が語る「成長」 「第7回 START プログラム参加学生報告書」から

STARTプログラムはその名の通り参加者を本当の意味での大学生活及び人生の「START」ラインに立たせてくれるプログラムだということである。
(教育学部 中野優歩)



大学、成長

キャンパスでも国際交流 留学生との交流会



広島大学には約1,100人の海外からの留学生が学んでいます（平成24年11月現在）。これらの留学生と日本人学生との交流の機会も多くあります。留学生と日本人学生が学内外の国際交流活動に参加するNOIE（ノイエ）や会話パートナー、留学生とのディスカッションなどがあり、在学生は誰でも応募可能。このほか、学生の自主活動として留学生と自由に話せる「カフェ」も開かれており、学生なら誰でも自由に参加できます。

- International Café（週1回） 使用交流言語：英語
- 茶話会（週1回） 使用言語：中国語

「国際人」への成長を支える基盤づくり 広島大学のグローバル戦略

交換留学や共同研究の土台 海外大学などのネットワーク

大学間の交流協定 136大学
このほか学部・研究科単位でも215件の交流協定を結んでいます。

●この項のデータはすべて平成24年11月現在

海外拠点 世界7カ国に8学術拠点



海外校友会・同窓会

広島大学留学生による校友会、同窓会。韓国広島大学総同窓会、中国校友会（北京/上海）、台湾校友会、ベトナム校友会、インドネシア（バンドン/スラバヤ/マカッサル/ジャカルタ）校友会、ブラジル校友会

熱気球
サークル
「有頂天」

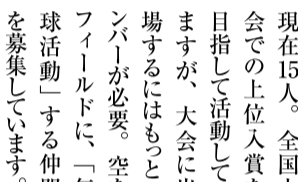


「風と一緒移動していきましょ」と平原くん。パイロットは高さによって違う風の流れを判断し、気球を上下させて進行方向をコントロールします。試合では、ターゲットポイント

「じゃあ、行きますか」と平原くん。巨大なパイナードで熱した空気を球皮に満たすと、フワッ。みるみるうちに高度が100、200メートルと上昇します。眼下に広がるのは賀茂台地。絶景です。そのままゆつくりと、風に乗って進みます。

●凍てつく早朝、始動！
真冬の早朝、凍った車が並ぶ駐車場から、小さな風船が一つ、空へ。「今日は穏やか」と呟いたのは平原くん。広島大学熱気球サークル「有頂天」のパイロットです。

風船は、風の向きや強さを知るための「パイロットバルーン（パイバル）」。白い息を吐きながら走ってきたお寝坊メンバーを含む4人で、いざ出発。目的地は「田んぼです」。



「こんな経験ができる大学ってそうそうないでしょ」と萬谷くん。熱気球ができる大学は、全国でも10程度しかありません。有頂天の部員は現在15人。全国大会での上位入賞を目指して活動していますが、大会に出場するにはもっとメンバーが必要。空をフィールドに、「気球活動」する仲間を募集しています。



「それより何より、やってみたいからありますが、ゴルフはとっても楽しいですよ」坂本くんが笑顔でまもてくれました。



●大学で「得がたい経験」
着陸も「田んぼ」。降り立った田んぼの持ち主には、後日お詫びとお礼に伺います。

トイにかに近づくかを競う種目もあるので、天気図や風については勉強しているそう。

ゴルフ部



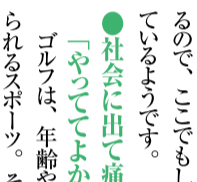
●自分と向き合うスポーツ
大学からクルマで30分ほどの場所にある民間のゴルフクラブ。ここがゴルフ部の練習場所。打ちっ放しの練習場を特別料金で利用させてもらっています。



坂本くん以外の2人は、広大に入ってからゴルフを始めました。「野球をしていたので止まってるボールを打つのは簡単だと思っていたら、とんでもない。まったく打てませんでした」と、2年生の森山くん。



OB主催のコンベンが定期的に開催されており、在学生部員も招待されるので、こでもしつかりアドバイスをもらっているようです。



●社会に出て痛感！
ゴルフは、年齢や立場に関係なく、生続けられるスポーツ。それどころか、「社会に出てゴルフが役に立った。やっていて良かったと思う」と、先輩たちは声を揃えて言っています。在学中でも、3年生の神澤くんは近々、研究室のゴルフコンペに参加するのだとか。



度々できるようになりました。

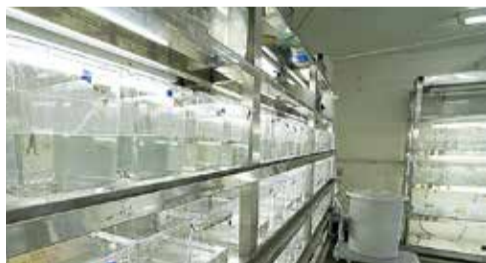
両生類研究施設
カエルから広がる医学、生命科学



さすが両生類研究施設、カエルがいっぱい！
実は、これは精巧に作られたフィギュア。



広島大学で開発された体表が透明な「スケルピオン」。内臓器官の研究などに役立つ。



ナショナルバイオリソースプロジェクトのネットイソメガエル飼育室



「佐渡島固有種」と証明されたサドガエル。



遺伝子操作で誕生したノックアウト「アルビノネットイソメガエル」

世界でオンリーワンの
両生類研究施設

広島大学には、世界的に珍しい両生類の研究・リソースセンターがあります。その名も「両生類研究施設」。理学部の附属施設です。「両生類」と名前がつく施設は、日本でもただ一つ。動物の研究者の間ではよく知られた存在で、最近では秋篠宮殿下、ノーベル賞受賞者の下村脩・益川敏英両先生も、この施設を訪れています。

広島大学第3代学長の川村智治郎先生の在職中の業績を基礎に、昭和42年に設立されました。

ナショナルバイオリソース
プロジェクト進行中

「実は、両生類は実験動物として非常に優れているんですよ」と、施設長の住田正幸教授。ヒトと類似する体内構造を持つ脊椎動物で、卵が大きく扱いやすく、体外受精のため、発生過程を簡単に観察できます。再生力が強いので再生の研究にも適しています。ガンの研究にも使われたとか。



再生力が強いので再生の研究にも適しています。ガンの研究にも使われたとか。

「しかし、飼育することが難しく、繁殖も困難。なかなか扱いにくい実験動物だったのです」

バイオテクノロジーの最先端

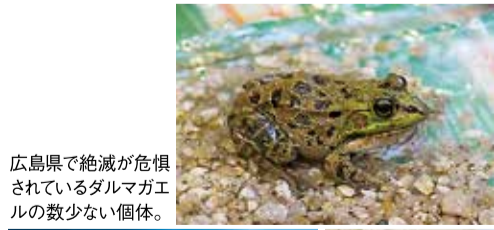
カエルを使った動物実験でも、両生類研究施設はバイオテクノロジーの先端を担っています。内臓器官の発生や分化の解明、標的遺伝子破壊方法の開発による遺伝子ノックアウト「アルビノネットイソメガエル」の作製、性別や体色が発現するメカニズムの解明、実験動物としての透明ガエルの作製……何よりも、両生類のゲノムの多様性を解明し、今世界各地で起きている両生類の生物多様性資源の消失にブレーキをかける役割には、大きな期待が寄せられています。

平成9年に佐渡島で発見されたカエルを、遺伝学、形態学、生殖学、進化学的に調べ、15年かけて「佐渡島固有種」と特定できたのにも、広島大学両生類研究センターとともに、広島大学両生類研究施設の果たした役割は大きいものでした。

世界での両生類進化の足跡を記録
両生類研究施設に系統保存されている



飼育下で自然繁殖した2代目のイシカワガエル。



広島県で絶滅が危惧されているダルマガエルの数少ない個体。



膨大な数の両生類のために、1部屋全部が生き餌のコオロギの飼育室に。



遺伝子研究のため両生類16,000匹余りがここに凍結保存されている。

多様な両生類の進化過程が、この中にしっかりと記録されています。

先端物質科学研究科 三浦道子教授に紫綬褒章 平成24年 秋の叙勲



日本の半導体産業を 勇気づけた「国際標準」

5年前、日本発のトランジスタモデルが、国際標準モデルとして選定されました。国際標準に選定されたのは、広島大学と、日本の半導体企業11社が出資する半導体理工学研究中心（STARC）が共同開発したHiSiM（ハイジム）です。そして、HiSiM開発の中心を担ったのが、三浦道子教授と、広島大学先端物質科学研究科極微細デバイス工学研究室の学生たちでした。

集積回路設計に 不可欠の計算式

この功績によって、平成24（2012）年秋の叙勲で紫綬褒章を受章しました。それほど、HiSiMの成功は、日本の半導体産業全体にとって、大きな意味のあることだったのです。

の集積回路には、多いものでは何億というトランジスタが組み込まれています。

複雑な集積回路を設計するためには、一つのトランジスタの動きを正確にシミュレーションする計算式が不可欠です。それが「トランジスタモデル」。これで国際標準に選定されることで、その国や研究機関の能力を示すだけでなく、そのモデルを使っている最終製品の可能性を広げることが出来ます。これは、その国の産業界のビジネス展開において極めて重要です。世界中の国や研究機関が、新しい「国際標準トランジスタモデル」を目指して厳しい評価基準を課してきたのは、このためです。

この中で、HiSiMは、正確で汎用性が高いトランジスタモデルとして国際標準化機関によって選定されたのです。

若い研究者に HiSiMの未来を託す

三浦道子教授は広島大学理学部化学科の卒業生です。大学院理学研究科博士課程を修了した後、単身ドイツに渡り、マックス・プランク研究所の研究員となりました。

「マックス・プランクでは、壁が黒板みたいになっていて、そこに式などを書いて仲間同士で議論しながら研究を進めていくんです。本当に楽しかった」と、懐かしそう。ここで、切磋琢磨する研究の面白さを知り、その後、新天地を求めて移籍したシーメンス研究所で

マイクロエレクトロニクスと出会う——こうしたドイツでの経験が、三浦教授の研究者としての道を拓きました。そして、再び広島大学へ。

「国際標準になって、HiSiMは社会や企業に対して大きな責任を持つことになりました。でも、広島大学にはすでに若い優秀な研究者が育っています。HiSiMのこれからを担っていく仕事は彼らにゆだねたい。これからは、バックアップ要員として貢献したい」

「目先のことにとらわれるより、社会はどうあるべきか、広大はどうあるべきかを考えるビジョンに立って、自分に何ができるかを考えることが大切」

受賞後の記念講演会で、若い世代へのメッセージを語った三浦教授。視線は、いつも若い研究者たちに向いているようです。



三浦先生が「優秀な人が育っています」と太鼓判を押す研究室の皆さん。紫綬褒章受章の三浦先生を囲んで。

広島大学への評価

平成24年防災功労者 内閣総理大臣表彰



原爆放射線医学研究所
神谷 研二 所長

神谷教授は放射線生物学の第一人者。東日本大震災後の福島第二原子力発電所の事故の後、広島大学の緊急被ばく対策委員会委員長として、緊急被ばく医療派遣チームの陣頭指揮を執り住民の安全・安心及び放射線防護に大きな貢献をしました。

第5回 海洋立国推進功労者表彰 (内閣総理大臣賞)



生物圏科学研究科
上 真一 教授

上教授は、従来謎に包まれていたエチゼンクラゲの生態を明らかにし、大量発生による漁業などへの被害の軽減に尽くしています。この業績に対して、内閣総理大臣賞が贈られました。海洋に関する人々の理解・関心を醸成する契機とする事を目的とする賞です。

第9回日本学術振興会賞



総合科学研究科
隠岐さや香 准教授

日本の学術研究の水準を世界のトップレベルに発展させるために、創造性に富み優れた若手研究者を発掘しようという日本学術振興会賞。審査会にはノーベル賞受賞者をはじめ各分野トップレベルの研究者が名を連ねるビッグな賞です。

受賞の対象となった隠岐准教授の業績は「パリ王立科学アカデミーを中心とした18世紀フランスの科学技術史的、社会的な研究」。隠岐准教授は、社会の中の科学や科学者のあり方を、科学アカデミーから研究してきた。昨年度はサントリー学芸賞を受賞するなど、最も注目される若手研究者の一人です。



「全国1196病院ランキング」 広大病院 第2位

週刊ダイヤモンド特号 2012年10月27日発行
週刊ダイヤモンドの特集「頼れる病院 消える病院」は、全国の主な病院を調査して、医療の機能が充実し、かつ経営面も安定した「頼れる病院」を評価したもの。広島大学病院が聖路加国際病院（東京都）、東海大学病院（神奈川県）と同率で2位にランクされました。1位は横浜市立大学市民総合医療センターでした。

「地域貢献度」2012年調査

日本経済新聞社
大学の人材や研究成果を、どれだけ地域のために役立てているかを調べたもの。通信制大学や新設大学をのぞく全国733の4年制大学が対象です。「組織・制度」、「ボランティア・防災」、「学生」、「企業・行政」、「住民」の5分野のうち、広島大学は「学生」分野で第6位にランクインしています。

**話題の
広大
2012.6 → 2013.1**
広島大学発のトピックを、
少しくわしく。

メディアが評価した広島大学

「卒業大学満足度調査」第9位
日本経済新聞社と日経HRによる共同調査。
「ビジネスパーソンが卒業した大学満足度調査」は、「社会的なイメージ」「教育内容」「キャンパスの施設」「学費」などの項目ごとに、回答者が5段階で評価するもの。回答者3417人の1%の34人以上の回答があった大学をランク付けしています。
広島大学は満足度94%で総合9位にランクされました。

順位	回答者数	大学名	満足度
1	48	北海道大学	100%
2	54	東北大学	98%
3	68	一橋大学	97%
4	227	慶応義塾大学	96%
5	59	筑波大学	95%
6	58	上智大学	95%
7	95	京都大学	95%
8	55	立教大学	95%
9	34	広島大学	94%
10	44	名古屋大学	93%

広島大学校友会 広大より
Phoenix Club
『Phoenix Club』Vol.13
平成25(2013)年2月25日発行
(年2回発行予定)
編集・発行:広島大学校友会事務局
〒739-8514 東広島市鏡山一丁目7番1号
学生プラザ2階
TEL&FAX (082) 424-6015
8:30~17:00(土・日・祝を除く)
E-mail ● sec@phoenix.hirodai.jp
Webサイト ● http://www.hiroshima-u.ac.jp/koyukai/



南極の昭和基地に近い調査エリア(南極大陸上)での長沼先生。第52次南極観測隊にて。

**東広島市PR大使に
「広大の先生」
生物圏科学研究科
長沼毅准教授**
東広島市のPR大使は、東広島市のイメージ向上をめざす「シティプロモーション推進事業」の一環として、東広島市が委嘱するもの。現在、広島大学の長沼毅准教授が務めています。
長沼准教授は、「科学界のインディ・ジョーンズ」として知られる研究者。微生物、極地の生物、宇宙人など、専門的な研究分野を分かりやすく、一般の人の興味をそそるよう解説してくれると、各所から引張りだ。NHKテレビ「プロフェッショナル 仕事の流儀」や「爆笑問題のニッポンの教養」、フジテレビ系「日本くぎつけ大学」「リアルスコープZ」、日本テレビ系「嵐にしゃがれ」など、テレビ出演も数多くあります。忙しい中、シティプロモーション事業でも、「東広島くふうセミナー」・地元中国放送の「ひとくふう八犬伝」出演など、研究者という立場を活かして活躍中です。